

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	32-2																																							
PDCA	主要事業名	半田福祉ふれあいプール改修事業	部課名	教育部スポーツ課	担当	榊原																																							
					内線	27-6663																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 2 単位施策： スポーツ 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 56,694 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.06.04.02.57 3か年実施計画(当該年度事業費等)： 56,700 千円																																												
	事業概要等	半田福祉ふれあいプールは、クリーンセンターのごみ焼却熱を温水プールの熱源としている。 事業概要： しかし、クリーンセンターが令和4年度から武豊町へ移転することに伴い熱源の供給が受けられないため、新たに都市ガスを熱源とした施設に改修する。 事業目的： 都市ガスを熱源とするため、半田福祉ふれあいプールの既設ボイラー及びポンプを修繕し、引き続き施設を使用できるように改修する。 事業内容： 半田福祉ふれあいプールの既設ボイラー及びポンプの修繕 問題点・課題等： 設立当初の設備のため、稼働後の維持管理が非常に重要となる。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	56,694 千円	今後も半田福祉ふれあいプール利用者に安全・快適な利用環境を提供するため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費	現在の施設を引き続き利用して運営することができる。																																											
	56,694 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1か月あたりの平均利用人数</td> <td>実績値</td> <td>10,846</td> <td>4,603</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>10,850</td> <td>7,200</td> <td>7,200</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	1か月あたりの平均利用人数	実績値	10,846	4,603	—	人	目標値	10,850	7,200	7,200	人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
	1か月あたりの平均利用人数	実績値	10,846	4,603	—	人																																							
		目標値	10,850	7,200	7,200	人																																							
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
0 千円																																													
0 千円																																													
0 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	55,770 千円	熱源の改修工事による休館期間を最小に抑え、引き続き利用者が安心安全に施設を利用することができる環境を整備することができた。																																											
		成果指標			令和3年度	単位																																							
		1か月あたりの平均利用人数	実績値	5,419	人																																								
			目標値	7,200	人																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和3年度は、1月～3月までは大規模修繕(プール熱源ボイラー等設備改修工事)により休館となったが、これ以外にも8月末～9月は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館があったため、目標よりも利用者数が減少した。 今後、安定した利用者の確保を行うためにも、水泳教室、アクアビクス、リラクソヨガ等の自主事業を積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。 また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。																																											
A 今後の課題の方向性	今後の事業の方向性	改善推進 施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。 また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理事業者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある																																						
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更																																							
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある																																						

予算見積書で活用

目標項目(予算計上時に作成)

主要施策の成果報告書で活用

評価項目(決算時に作成)